

よこはまユースレター

発行/公益財団法人よこはまユース
tel.045-662-3716 fax.045-662-7645
URL <http://yokohama-youth.jp/>
Eメール soumu@yokohama-youth.jp

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、3月から5月までよこはまユースが運営する青少年施設が臨時休館となったほか、市内の多くの青少年活動が中止や延期となりました。先が見えない状況ですが、今後は感染症対策をしながら「新しいスタイル」の活動が求められます。

今号では、“With コロナ時代”に向けた体験事業や各部署の取り組みをご報告します。



■ with コロナ時代

5月26日、コロナ禍による緊急事態宣言が全国的に解除されたとともに、感染症対策を徹底しつつ社会活動を行っていくwith コロナ時代が始まり、私たちの生活や社会が変化してきています。

“with コロナ時代”をインターネットで検索すると、『with コロナ時代のビジネス』『with コロナ時代の働き方』『with コロナ時代の経済活性化』など、経済や社会活動に関する情報が大部分で、青少年や若者の活動、体験事業の情報はほとんどありません。

7月になり、学校が再開したほか閉鎖されていたレクリエーション施設、宿泊施設等も再開し始めました。また、国内旅行を活性化させる施策も政府から発表され、待ち望んでいた人たちが様々なフィールドに出かけはじめています。一方、感染者数は夏に入り再び増加するなど、いまだに収束の気配をみせていません。

このような状況のもと、文部科学省が施設体験活動推進事業を補正予算に盛り込んだほか、専門家の助言を基にアウトドア推進団体や自然体験活動、環境教育を実施している団体から新型コロナウイルス対応ガイドラインが示されるなど、新たなルールによる活動が始まろうとしています。

■ 青少年にとっての「遊び」「体験」とは

青少年は「遊び」や「体験」を通じて必要なスキルを身に付け、



成長していきます。また、成長は連続的なものであり、切れ目のない働きかけや支援が大切です。「できないから仕方ない」「しばらくお休み」というわけにはいきません。

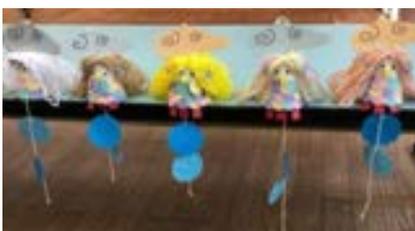
この間、青少年事業もオンラインの取り組みが進み、新しいスタイルとして定着しつつあります。体験事業においても「どんなかたちなら実施できるか」を考えるとともに、活動の目標と感染防止のための行動目標を青少年とともに共有しながら、新しいスタイルで実施していくことが求められるでしょう。

「with コロナ時代」も、青少年が遊びや体験を十分経験できるよう、地域の皆さんと知識を深め、知恵を出し合っていきたいと思います。

文部科学省「子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業」

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/mext_00687.html

放課後キッズクラブ



児童が作成した「アマビエ」

3月からの全国一斉臨時休校や緊急事態宣言中も、放課後キッズクラブは保護者の就労等により家庭で過ごすことができない児童の受け入れを続けました。机に印をつけ間隔をあけて座ったり、段ボールで作った仕切りを置いて一人遊びをしながら過ごしたりと、感染症対策に気をつけて工夫をしながらの活動を実施しています。

寺尾小キッズクラブでは紙コップと毛糸を使ってかわいいアマビエの工作をしたり、本町小キッズクラブでは手を広げた人形を作って楽しく間隔をあける工夫をしたり、児童が少しでも楽しく過ごせるようにしています。

学校は再開しましたが、感染症拡大防止のために時間・日数などで利用児童を限定しており、遊びの場としての開放は厳しい状況です。子どもたちが安心して遊びに来ることができ、楽しいプログラムを思いっきりできるキッズクラブに早く戻れるよう、新型コロナウイルスの収束を願うばかりです。

よこはまユース（本部事業）

7月実施の「知っておきたい！子ども・若者どこでも講座」では、中学生を対象に「SNSの使い方」を学びました。感染症拡大防止のため、学校の放送室から各教室のテレビに放映するという初めての試みでした。

終了後のアンケートでは「両親からSNSには気をつけなさい、と言われる理由が分かった」「今は誰でもSNSで発信できる時代だけど、直接話す時よりもしっかり考えて、相手の立場になって発信することを心がけていきたい」という感想がありました。

感染拡大防止のためのオンラインでの開催など、実施方法についてのご相談にも応じています。詳しくはホームページをご参照ください。



青少年交流・活動支援スペース さくらリビング

3月からの臨時休館中「青少年に向けてできることを」と、「さくらビオンライン」を始めました。

新しい試みに試行錯誤しつつ、6月のフリースペース解禁まで毎日開催しました。いつも勉強で来館してくれていた子は勉強しながら参加したり、新たな交流が生まれたりなど、オンライン上でも自由に過ごしやすい交流の場を作れたのではないかと思います。

現在は制限付きながらフリースペースも再開し、活気が戻ってきています。オンラインでも手ごたえや収穫がありましたが、やっぱり青少年と実際に会える方がいいな、と思う毎日です。



横浜市野島青少年研修センター

安心・安全に宿泊していただけるよう、3月からの臨時休館中に「やれる事はすべてやろう」をモットーに感染症対策に取り組んできました。清掃方法の見直しから始まり、3密を避けるための利用方法の改善、全宿泊室への空気清浄機の導入、食堂での飛沫防止スクリーンの設置、入館者の体温チェック、全出入口への消毒液設置、そして体験プログラムの見直しも行いました。



1日も早く子どもたちの笑顔が帰ってくるよう、「with コロナ」においても安心して活動できるよう努力重ねていきますので、ご利用お待ちしております。

1日も早く子どもたちの笑顔が帰ってくるよう、「with コロナ」においても安心して活動できるよう努力重ねていきますので、ご利用お待ちしております。

横浜市青少年育成センター

3月から臨時休館していましたが、6月1日から条件付きで再開しています。

休館期間中に、利用者の皆さまからご要望が多かった「インターネット利用」を可能にするため、地下2階に新たにWi-Fi設置工事を行いました。すべての部屋でインターネットに接続できるようになり、オンラインの会議や配信なども可能です。併せて、第一研修室に天井プロジェクターの設置や、全室に空気清浄機を設置するなど、利便性や安全性を高め、新しい形の活動にも対応できるよう努めています。ぜひ、安心してご利用ください。



Thank you for your support.

ありがとうございました！

2020年2月1日から7月31日までの寄附金

◆ユース賛助会費 79件 395,000円 ◆一般寄附金 20件 163,984円

寄附金協力者（順不同、敬称略）

【団体】

菓子工業組合横浜中央支部/神奈川県青少年指導員協議会/川本工業(株)/京浜サービス(株) コーロ・アンダンテ/(株)サンセルフ/社会福祉法人 横浜共生会/JX-ENEOS 野球部 OB 会事務局 (株)杉浦商事/(有)武牛乳店/第一カーボン(株)/(株)チアーズ/仁平総合法律事務所/扶桑電気(株) 特定非営利活動法人よこはまチャイルドライン/西区子ども会育成連絡協議会/横浜商工会議所 西区ジュニアリーダーズクラブ/馬車道商店街協同組合/(有)横浜ランパート協会 (株)横浜スタジアム/横浜市退職小学校長会/横浜市立井土ヶ谷小学校PTA 横浜市立綱島東小学校PTA/横浜市PTA連絡協議会/

【個人】

青山 幸一/安部さきみ子/荒井 清/荒井 総平/新井 春海/飯島 幹夫/飯田 正明/飯塚 道子 石塚 昇/池田ふみ子/稲又 理史/井上 孝夫/岩倉 憲男/岩澤 幹夫/内野 貴彦/榎本 文夫 大石 俊雄/恩田 幸一/片岡喜久江/加藤 輝代/賀谷まゆみ/川口 俊行/川本 正秀/雲井 耀一 久保田 令子/齋藤 史郎/酒井 勝己/澤田 吉秀/下野坊和子/田上 恭孝/田邊 義勝/俵 節子 出口 晴基/中村 一雄/中村 輝次/野村 啓子/橋本 義昭/濱倉 公子/日比野政芳/美藤 愛 深井 楯男/古澤 竜夫/松井 孝子/松田 利恵/三井 巧/三橋 ツネ/安田 修二/若木 一美 和知 典夫

第60回 爆笑!濱っ子寄席 延期のお知らせ

12月に開催を予定していましたが「爆笑!濱っ子寄席」は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ検討した結果、来場者の皆さまの安全確保を最優先することとし、残念ながら来年度に延期することといたしました。

毎年楽しみにしていた皆さま、誠に申し訳ございません。

来年お会いできることを楽しみにしております。

4月から新たにユースの一員になりました。コロナ禍の中で、自分が最も大切にしている「人とのコミュニケーション」が制約される厳しい状況が続いていますが、こんな時だからこそ、明るく前向きにチャレンジしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。(まっきー)